

➤ 検討委員の意見のまとめ

(1) 学校数について

- ◆ 現計画のまま、小学校2校、中学校1校とする
- ◆ 小学校2校、中学校1校は極端すぎるので、小学校4校、中学校2校程度に再編してはどうか
- ◆ 和泉小中学校については、通学の負担が大きいので例外にして、義務教育学校、小中一貫校としてはどうか
- ◆ 複式学級の解消、免許所有教員の配置、部活動の選択肢の幅を広げることは必要だと思う
- ◆ インクルーシブ教育などへの対応を考えると、小規模校がいいと思う

(2) 再編時期について

- ◆ 早急に進める
- ◆ 中学校については、速やかに進める

(3) 再編方法について

- ◆ 新しい校舎を建設する
- ◆ 中学校を村部に残す、スクールバスは使わずできる限り自転車で通うようにしたほうがよい
- ◆ 小学校はできるだけ歩いて通える距離、通学時間をできる限り短縮し、子どもたちの負担を減らしてほしい

(4) その他

- ◆ 保護者や地域のことを先に考えるのは本末転倒である
- ◆ 固定概念に縛られず、新しい未来を創造する学校、子どもたちも楽しみになるような計画を考えていきたい
- ◆ 大人の思いよりも何が子どもたちにとって最良なのか、子どもたちの思いを大切にしたい
- ◆ 子どもたちが行きたいと思うような学校づくりを進めてほしい
- ◆ 教員の心が豊かでないと、子どもたちに充実した教育ができないので、教員への配慮も必要だと思う
- ◆ 自校式の給食を廃止せず、食育の充実についても考えないといけない
- ◆ 学校の規模の大小で教育の質が変わらないよう、大野の教員は頑張っている
- ◆ 平等な義務教育を公が実施している以上、中学校では免許を所有する教員が、専門教科を教えることが必要
- ◆ ICT化を進めることが必要
- ◆ 学校再編により、五箇地区に続いて校区が旧町村の枠組みを外れるので、新しいまちづくりを考えることに繋がる
- ◆ 学校再編と部活動は、まずは切り離して考えたほうが良い
- ◆ 地区ごとの世帯数の推移のデータがあると、新たな視点から考えることができる
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校に通えなくなって、初めて学校や友達の良さを強く感じたと思う
- ◆ 単に知識や技能を身に付ける場ではなく、仲間とともに学び、磨きあい、高めあう場としての学校が必要
- ◆ 自分も仲間も大切に、互いに磨きあいながら生きる力を高めていく大野っ子を育てる